大分県立図書館
summer
ティーンズだより
通巻4号　2022年　夏号

怖いけれど、気になる

所蔵場所　：請求記号

『文豪ノ怪談 ジュニア・セレクション　夢』

夏目 漱石／ほか[著]
東 雅夫／編　山科 理絵／絵
汐文社　2016年

子ども室　：913/ヒガ

古今の文豪による「怪談」アンソロジーシリーズ第１弾。
「夢」をテーマに、高校教科書にも出てくる夏目漱石「夢十夜」や、志賀直哉「病中夢」など１１作を収録しています。

総ての漢字にルビ付き！
語句解説も充実！
怪談から日本語の魅力を感じてみてください。

『「怖い」が、好き!』

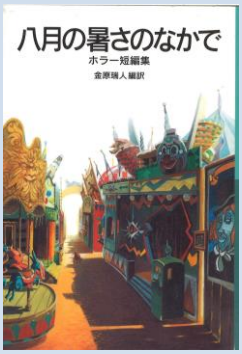
加門 七海／著
100%ORANGE／装画・挿画
イースト・プレス　2012年

子ども室　：147/2012

「怖い」とは何なのか、どこから生まれる感情なのかを探っていきます。おばけや怖い話が大好きな人も、怖いものは苦手だという人にもおすすめの一冊です。

「見える」著者の体験談も必見！
ぞっとします。

『八月の暑さのなかで ホラー短編集』



金原　瑞人／編訳　岩波書店　2010

子ども室　：933/カネ

翻訳家金原瑞人が自ら選び、訳した、13編のホラー小説を収録。エドガー・アラン・ポーやロアルド・ダールによる怖くて「おもしろい」作品に出会えます。日本の怪談とは異なる、英米ホラーの魅力をぜひ味わってみてください。

表題作「八月の暑さのなかで」は、猛暑の続く夏にぴったりです。

『営繕かるかや怪異譚』

（えいぜん　かいいたん）

小野 不由美／著
KADOKAWA／角川文庫　2018年

一般　：文庫/06/オ

何度閉めても開いている奥座敷の襖、誰もいるはずのない屋根の上から聞こえてくる足音、雨の降る日、鈴の音とともに袋小路に現れる喪服の女。
建物にまつわる怪異を、営繕屋が修繕を通して鎮めていきます。

大分県出身作家による、怖くて美しい怪異譚です。

書名	作者	出版者	出版年
● 妖怪がやってくる	佐々木 高弘／著	岩波書店	2021
● 怪談　小泉八雲怪奇短編集	小泉八雲／作　平井呈一／訳	偕成社	1991

新書、読んでみる？　テーマ：人間関係

岩波ジュニア新書　YA　：159.7/2019

『「空気」を読んでも従わない
生き苦しさからラクになる』
鴻上 尚史／著
岩波書店　2019年

他人の目が気になったり、周りから浮いてしまうのが怖かったりといった「生き苦しさ」には理由があります。「空気」を読んでも従わない生き方を手に入れ、自分らしくのびのびと生きる方法を伝えます。

息苦しさや、生きづらさを感じる時にはこの本

筑摩プリマー新書　一般　：361.4/2022

『「人それぞれ」がさみしい
「やさしく・冷たい」人間関係をかんがえる』
石田 光規／著
筑摩書房　2022年

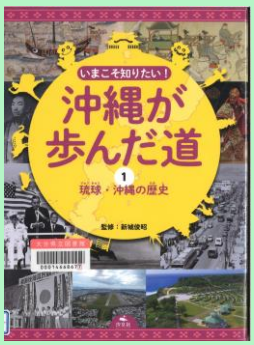
人づきあいをしなくても生活できるようになった現代。その反面、他人と深い関係を築けなくなった人々が増えています。
「人それぞれ」の現代社会が抱える問題を考える一冊です。

本音でぶつかれる友だちがいないと感じる人へ

書名	作者	出版者	出版年
★ 大きらいなやつがいる君のためのリベンジマニュアル	豊島 ミホ／著	岩波書店	2015
★ 友だち幻想　人と人の〈つながり〉を考える	菅野　仁／著	筑摩書房	2008

沖縄を知る　～沖縄本土復帰50周年～

2022年、沖縄県は本土復帰50年を迎えます。
この機会に改めて沖縄の歴史や文化、現在抱えている問題について、学ぶことのできる本を紹介します。



『いまこそ知りたい!沖縄が歩んだ道』
全３巻
新城 俊昭／監修　　汐文社　2022年

１巻「琉球・沖縄の歴史」
２巻「沖縄に残る戦争遺跡と米軍基地」
３巻「世界遺産になった沖縄の文化と自然」
豊富な資料で、琉球王国時代から現在の沖縄まで幅広く学ぶことができます。

子ども室　：219/2022

『はじめての沖縄』
岸 政彦／著　新曜社　2018年

沖縄をテーマに研究を続ける社会学者が、個人的な体験から沖縄について感じたこと、考えたことを書いた一冊です。
実際に沖縄に出向き、沖縄で生まれ育った人々の話に耳を傾け、丹念に記録しています。

子ども室　：302/2018

書名	作者	出版者	出版年
★ ゲッチョ先生と行く沖縄自然探検	盛口 満／著	岩波書店	2021
★ 海をあげる	上間 陽子／著	筑摩書房	2020
★ いまこそ、沖縄　沖縄に親しむ50問50答	行田 稔彦／著	新日本出版社	2014

発行：2022年6月30日　大分県立図書館子ども室　大分市王子西町14番1号　097－546－9972